一般社団法人日本ケーブルラボ
第7回 功労者表彰受賞者の功績等の概要

(敬称略)

氏 名	功績概要
当法人で務めた主な役職 なかや かずし 中 屋 一 志	運用業務自動化の検討活動において、卓越したリーダーシップを発揮し、多くの関係者を巻き込みながら自社の検証・商用環境を最大限に活用し、自動化の POC を推進した。その結果、運用業務コストの抑制、人的資源の効率化、迅速な障害復旧、情報セキュリティの向上、業務の標準化といった多岐にわたるメリットを実証した。そこで得た実践的な知識、経験は、ワークショップ等を通じて事業者と共有した。これらの活動は、今後の事業者の競争力維持、向上に寄与するものとなる。
事業企画委員会 委員 技術委員会 委員	
もとなが やすのり 元 永 康 則	2017年8月より2025年3月に至るまで、8年間にわたり技術委員長として委員会活動を牽引してきた。その間に策定した技術仕様、調査報告、業界への提言は枚挙にいとまがない。 第3世代 STB、ケーブル 4K、ハイブリッドキャスト、IoT、低遅延映像、ケーブル DLNA 等々、多種多様な課題に取り組み、その成果のラボ活動、業界への貢献は図り知れない。
技術委員会 委員長	
しみず ひでお 清 水 英 夫	2015年に日本ケーブルラボに勤務を開始して以来、技術者としてケーブルテレビ事業における様々な課題に取り組み、成果をあげてきた。技術委員会、WG、アドホックの事務局として活動を取りまとめるとともに、自らも数々の技術仕様、調査報告を完成させた。近年では、PONの相互接続、集合住宅高速化、そして事業者の監視自動化に取り組むなど事業者が抱える課題に真摯に取り組み、広く業界に貢献した。
実用化開発部長	

以 上